瓦版
ICHINOHE
地域おこし協力隊
Vol.09

新規協力隊員着任！

一戸公営塾のご紹介！

一戸町 飲食店マップ完成しました！

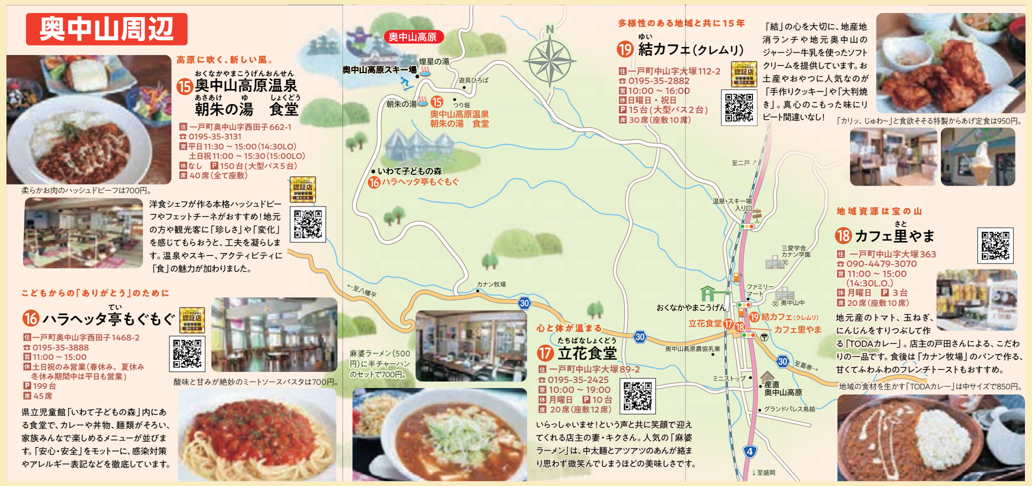
いちのへごはん堂
一戸町飲食店マップ

皆さん、こんにちは！大平です。

この度、一戸町が発行した「一戸町飲食店マップ」の制作に携わらせていただきました。この飲食店マップには一戸町内の 19 店、「予約せずに昼食を食べられる」お店に限定して載せています。私は、一軒一軒、お店を周り、料理の撮影や紹介文の作成などを行いました。取材中、店主の方のお話しを聞くと、コロナ禍で飲食店を経営することの難しさや苦労、それでも「美味しかった！」と言われることのうれしさなど、様々な葛藤や思い・やりがいをお伺いすることができました。

私は、マップの制作中、このような社会情勢の中、毎日お店を開けてくれる飲食店の方々に感謝の気持ちがこみ上げてきました。ぜひ、一戸町の自慢の飲食店を町外に住む親せきや友人へ「シェア（共有）」していただければと思います。

一戸町には素敵なお店がいっぱい！
ご友人や遠くにお住まいの方へシェアしてください！



奥中山周辺

高原に吹く、新しい風。

⑮ 奥中山高原温泉（おくなかやまこうげんおんせん） 朝朱（あさあけ）の湯（ゆ） 食堂（しょくどう）

住 一戸町奥中山字西田子662-1
☎ 0195-35-3131
営 平日11:30 ~ 15:00(14:30LO)
土日祝11:00 ~ 15:30(15:00LO)
休 なし　P 150台(大型バス5台)
席 40席(全て座敷)

柔らかお肉のハッシュドビーフは700円。

洋食シェフが作る本格ハッシュドビーフやフェットチーネがおすすめ！地元の方や観光客に「珍しさ」や「変化」を感じてもらおうと、工夫を凝らします。温泉やスキー、アクティビティに「食」の魅力が加わりました。

こどもからの「ありがとう」のために

⑯ ハラヘッタ亭（てい）もぐもぐ

住 一戸町奥中山字西田子1468-2
☎ 0195-35-3888
営 11:00 ~ 15:00
休 土日祝のみ営業（春休み、夏休み 冬休み期間中は平日も営業）
P 199台
席 45席

県立児童館「いわて子どもの森」内にある食堂で、カレーや丼物、麺類がそろい、家族みんなで楽しめるメニューが並びます。「安心・安全」をモットーに、感染対策やアレルギー表記などを徹底しています。

酸味と甘みが絶妙のミートソースパスタは700円。

麻婆ラーメン(500円)に半チャーハンのセットで700円。

心と体が温まる

⑰ 立花食堂（たちばなしょくどう）

住 一戸町中山字大塚89-2
☎ 0195-35-2425
営 10:00 ~ 19:00
休 月曜日　P 10台
席 20席(座敷12席)

いらっしゃいませ！という声と共に笑顔で迎えてくれる店主の妻・キクさん。人気の「麻婆ラーメン」は、中太麺とアツアツのあんが絡まり思わず微笑んでしまうほどの美味しさです。

多様性のある地域と共に15年

⑲ 結（ゆい）カフェ(クレムリ)

住 一戸町中山字大塚112-2
☎ 0195-35-2882
営 10:00 ~ 16:00
休 日曜日・祝日
P 15台(大型バス2台)
席 30席(座敷10席)

「結」の心を大切に、地産地消ランチや地元奥中山のジャージー牛乳を使ったソフトクリームを提供しています。お土産やおやつに人気なのが「手作りクッキー」や「大判焼き」。真心のこもった味にリピート間違いなし！

「カリッ、じゅわ~」と食欲そそる特製からあげ定食は950円。

地域資源は宝の山

⑱ カフェ里（さと）やま

住 一戸町中山字大塚363
☎ 090-4479-3070
営 11:00 ~ 15:00
(14:30L.O.)
休 月曜日　P 3台
席 20席(座敷10席)

地元産のトマト、玉ねぎ、にんじんをすりつぶして作る「TODAカレー」。店主の戸田さんによる、こだわりの一品です。食後は「カナン牧場」のパンで作る、甘くてふわふわのフレンチトーストもおすすめ。

地域の食材を生かす「TODAカレー」は中サイズで850円。

持ち歩き便利な
サイズにしました！

▲駐車場や定休日、店内の写真など盛り込み、初めての方でも行きやすいように作りました！ ※展開サイズ A3

パンフレットは町内各駅や町内観光施設と町内飲食店においてあります。
「いちのへごはん堂」のポスターが目印で飲食店の情報はホームページでもチェックできます！

いちのへごはん堂 ホームページはこちら

お問い合わせ 一戸町役場 商工観光課 TEL 33-2111 内線 265 地域おこし協力隊 大平 直人

編 集 後 記

暖かい日が続き、山菜や新緑の香りがすがすがしい季節になりました。また、新たな年度と共に、一戸町に新たな地域おこし協力隊が着任し、今後の活動がより楽しみに感じています。

実は私も昨年度までは「広報活動の支援」をミッションとして活動させていただいていましたが、今年度よりミッションが変わり、「移住専門相談員」として、活動させていただくことになりました。

イベントなど一戸町を紹介させていただくことや、今までより更に、町の中に入り、皆さまとお話させていただく機会もあるかと思いますので、暖かく迎い入れていただければと思います。

地域おこし協力隊　渡辺　達也

協力隊 小寺シェフ情報

６月　※とんかつ弁当・キッチンカーは一戸駅で販売します

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	② 地下食堂	3	4
5	⑥ とんかつ弁当	7	8	⑨ 地下食堂	10	11
12	13	⑭ キッチンカー	15	⑯ 地下食堂	17	18
19	⑳ とんかつ弁当	21	22	㉓ 地下食堂	24	25
26	27	㉘ キッチンカー	29	㉚ 地下食堂	1	2

発行・編集 一戸町役場 政策企画課 地域おこし協力隊 渡辺 0195-33-2111(内線 215)　令和 4 年 /2022.05

新任 地域おこし協力隊のご紹介

畠（はた）　洋次（ようじ）　ミッション：御所野遺跡での縄文里山づくりと情報発信

はじめまして。今年４月から地域おこし協力隊として御所野縄文公園に着任した、畠洋次です。北海道の旭川市で生まれ学生時代を旭川市で過ごし、その後仕事の関係で関東へと移り住み、システムエンジニアとして働いていました。

「都会でのせわしない生活に疲れ、地方でのんびり暮らしたい」という消極的な理由から一戸へやってきましたが、町に着いてまず目に入ったのが、「祝 御所野遺産世界遺産登録決定！」の垂れ幕。なんだか凄いところへ来てしまったのでは？と少し不安になりましたが、職場にご挨拶へ行くと、みなさんとても気さくな方々で安心しました。

▲御所野遺跡だけでなく、一戸町の文化財の情報を記録、発信していきます。

▲基本的に御所野遺跡を中心に活動します。

そして気付いた事は、とにかく皆さん御所野遺跡にかける情熱が凄い！この環境が私にどういった変化をもたらしてくれるのか、私がこの町にどれ程の貢献ができるのか。まだまだ分からない事ばかりですが、皆さんの溢れだした情熱を分けてもらいつつ、厳しくも美しい一戸の四季に彩られる御所野に再現された縄文の風景を、世界へ誇れる日本の遺産として、より多くの方々へお届けできるように頑張っていきたいと思います。

滝野（たきの）　理香子（りかこ）　ミッション：観光の振興

一戸町のみなさまこんにちは！４月から地域おこし協力隊として一戸町産業部商工観光課に着任しました滝野理香子です。盛岡出身の主人、４歳の娘と三人でこの度岩手県にＵターンしてまいりました。

私は、一戸町奥中山の出身です。中学生まで奥中山で過ごし高校から盛岡で姉と二人暮らしをしました。高校卒業後は盛岡で就職し数年を過ごし、その当時遠距離恋愛していた主人を追いかけ 2014 年に憧れの東京へ上京しました。鉄道会社に入社し世田谷線という路面電車のアテンダントをしていました。最初はアナウンスをする際、イントネーションの違いに苦労しました。（笑）

▲一戸町の歴史を勉強中です。

▲出身の奥中山も含めて一戸町の魅力を発見し発信していきます！

約８年東京で過ごし、結婚・出産・育児と人生の大イベントを経験しいろんな意味で強くなって帰ってきたと思います。

今回のＵターンは、一戸町の魅力をいろんな人に伝えたい、奥中山の高原野菜をたくさんの人に知ってもらいたい、そして一戸町の皆さまにもっと笑顔になっていただきたいという想いなどが色々な人との巡り会いに繋がり今ここにおります。自分が育った町に移住できたことに感謝し一戸町に恩返ししていく気持ちで頑張ります！

公営塾通信

▲奥中山教室の授業の様子

皆さん、こんにちは！一戸町公営塾です。
皆さんのお力添えで、一戸町公営塾も５年目の春を迎えることになりました。本年度は、５つの教室 53 名でスタートしています（５月現在は 60 名）。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、某新聞、加藤登紀子の「ひらり一言」、ある日の一言は『未来は今の中にある』でした。その意味は、「未来を変えたいのなら、今日を変えるしかない。いつか、じゃなく、今が変わらなければ、未来は変わらない。」というものです。今の延長上に未来はある、その通りですね。

正月や年度初めなどの節目（ふしめ）は、ちょうど竹が節目で伸びるように一つのきっかけとなります。どうでしょうか。一つ、公営塾に通って、勉強する時間を確保するのも一つのきっかけ、今を変えることになるかもしれません。

公営塾はいつでも入塾可能ですし、またとりあえず体験してみることも可能です。まずは、それぞれの学校の近くにある「教室」の扉を開いてみませんか。

公営塾では市販のテキストを使い、１コマ目が 16：10 ～、２コマ目が 17：10 ～からそれぞれ 50 分間、自学自習を基本に学習を進めています。20 分ずつワーク①と②で二教科、１回で２ページずつ進みます。自分で問題を解き、自分で○付けをして、それをスタッフが確認、必要に応じて声掛け、支援をしています。早く終わったら、テキスト付属の「かくにんテスト」、塾にある理科や社会の問題集、学校の宿題に自分で選択して取り組みます。

また、最初の５分間はタブレットを使って、読む・聞く・書く・話すという４つの力がつくという英語アプリ「Fun English」に、ゲーム感覚で楽しみながら取り組んでいます。

最後の５分間は作文で、今現在は「自分を知る」をテーマに、①学校の好きなところ（生活編）、②好きな給食・苦手な給食（食べ物編）、③好きな映画・本について（娯楽編）、④気になっているニュース（時事編）、…と続き、その後、書いた作文をもとに５～６人で交流会を行います (右の下写真)。

▲一戸南教室の授業の様子

公営塾 各教室のご紹介

▲一戸町コミュニティーセンター【一戸教室】

▲関屋自治公民館【一戸南教室】

▲小鳥谷地区センター【小鳥谷教室】

▲鳥海地区センター【鳥海教室】

▲お達者かぁ～ん【奥中山教室】

公営塾情報は
facebook で更新中！

【お問い合わせ】地域おこし協力隊
一戸公営塾　TEL：090-9617-6714